

ISS・きぼう ウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 456



(左)ズヴェズダにて45PのISSへの接近とドッキングの状態を監視する古川(左)、ウォルコフ(右)両宇宙飛行士
(右)ISSのピアースに接近する45P(すべて出典:JAXA/NASA)

今週のISSと古川宇宙飛行士

最初のISS構成要素打上げから**4736**日経過

古川宇宙飛行士は45Pのドッキングに関する作業などを実施

国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在中の古川宇宙飛行士ら第 29 次長期滞在クルーは、3 名体制での ISS 運用に忙しい日々を過ごしました。

11月2日、古川宇宙飛行士はウォルコフ宇宙飛行士をサポートして、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)で ISS の「ピアース」(ロシアのドッキング室)に接近およびドッキングする 45P の状態を監視しました。同日午後8時41分、45P は正常に ISS へドッキングしました。

通常、プログレス補給船は自動制御に

より ISS へドッキングしますが、自動ドッキングシステムが正常に機能しなかった場合は手動ドッキングシステムの操作により対応します。そのため、古川宇宙飛行士らが操作卓のあるズヴェズダで 45P のドッキングを見守りました。

新たな長期滞在クルー 3 名を乗せたソユーズ宇宙船 (28S) は、11月14日午後1時14分に打ち上げられる予定です。

また、11月7日に開催されたフライト準備状況確認審査会で、古川宇宙飛行士らの搭乗するソユーズ宇宙船 (27S) の帰

還予定日時を 11月22 日午前 11 時 25 分とすることが正式に承認されました。

Expedition 29 Crew

ISS滞在 151 日経過

マイケル・フォッサム (コマンダー、NASA)
古川聰 (JAXA)
セルゲイ・ウォルコフ (ロシア)

11月16日からISS滞在開始予定
ダニエル・バーバンク (NASA)
アントン・シュカブレロフ (ロシア)
アナトリー・イヴァニシン (ロシア)

Website info

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ページ

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/
古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!
http://twitter.com/Astro_Satoshi

Pick Up 古川宇宙飛行士の「宇宙ふしぎ実験」実施結果(9月22日分)公開 & 帰還ライブ中継配信協力先募集のお知らせ

古川宇宙飛行士が9月22日に実施した「宇宙ふしぎ実験」の結果映像をホームページで公開しています。

9月22日には、一般的の皆様からご応募いただいたアイデアから選定したテーマのほか、アジア諸国から提案されたテーマなどの中から、7テーマを実施しました。どれも興味深い内容となっていますので、ぜひご覧ください。なお、「宇宙ふしぎ実験」は10月29

日にも実施していますが、その実施結果についても後日公開する予定です。

また、JAXA は、11月22日に予定されている古川宇宙飛行士が搭乗するソユーズ宇宙船 (27S) の分離と着陸の模様をライブ中継する予定です。

現在、この映像をインターネットやパブリックビューイングなどで配信していただける配信協力先を募集しています。詳細はホームページ

をご覧ください。募集締切りは11月18日(金)です。ご興味を持たれた企業・団体様はぜひご連絡ください。

Website info

古川聰宇宙飛行士の「宇宙ふしぎ実験」実施結果

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/exp2/fushigi/
古川宇宙飛行士の帰還ライブ中継配信協力先募集!
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/news/live_bosbu.html



マランゴニ対流実験の第4シリーズを引き続き実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、流体実験ラックの流体物理実験装置(FPEF)を使用して、「マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程」の第4シリーズを引き続き行っています。

マランゴニ対流実験では、シリコーンオイルという液体で大きな柱(液柱)を作り、液柱の内部の流れの変化や、それに伴う温度分布の変動を調べます。

第4シリーズとなる今回は、直径3cmの液柱に発生するマランゴニ対流の遷移現象を解明します。液柱の温度差を大きくし対流を強くすることにより発生する様々な流動パターンについて、その対流および温度分布を詳細に観察することで振動遷移条件や遷移プロセスを明らかにします。また、意図的に液柱の分離や再生成を行い、それぞれの状態でマランゴ

ニ対流の観察を行います。この実験は、2011年12月頃まで実施する計画です。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置(SEDA-AP)と全天X線監視装置(MAXI)の観測運用が続けられています。

Website info

「きぼう」での実験（各実験の詳細は[こちら](http://kibo.jaxa.jp/experiment/)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

インフォメーション

宇宙にいる星出さんと話そう！ 交信イベントや映像収録などの企画提案募集

JAXAは、2012年6月頃から国際宇宙ステーション(ISS)に約6ヶ月間長期滞在する星出宇宙飛行士との交信イベントおよび映像収録企画の提案募集を、2012年1月6日(金)まで行っています。

交信イベントは、NASA TV映像配信を利用してリアルタイムで音声交信するものです。また、映像収録企画は「きぼう」

日本実験棟内でハイビジョン映像を撮影するものです。応募方法などの詳細はホームページをご覧ください。皆様からのご応募をお待ちしています。

Website info

星出宇宙飛行士の宇宙滞在におけるリアルタイム交信イベントおよび映像収録企画の募集について
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/hoshide/news/event_kousin.html



星出宇宙飛行士とISS第32次長期滞在クルーパッチ（出典：JAXA/NASA）

第57回日本宇宙航空環境医学会大会公開シンポジウム開催、参加者募集

JAXAは、第57回日本宇宙航空環境医学会大会と共に、11月26日(土)に茨城県つくば市のつくば国際会議場にて公開シンポジウムを開催します。これまでJAXAが進めてきた宇宙医学生物学研究の成果を発展・継承させ、今後の社会課題

に対して、どのように展開していくのかを議論します。また、向井宇宙飛行士を座長として、毛利衛日本科学未来館館長による特別講演を予定しています。

本シンポジウムは一般的な皆様もご聴講頂けます(参加費無料)。参加申込みなど

の詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

第57回日本宇宙航空環境医学会大会公開シンポジウムの開催について
<http://iss.jaxa.jp/topics/2011/11/57medical.html>

more information



▶ JAXAが協力する国際宇宙ステーション(ISS)での宇宙教育実験「スペースラボ」実験提案募集中！(12月7日(水)まで)

http://iss.jaxa.jp/topics/2011/10/youtube_spacelab.html

本コンテストは、14歳から18歳までの世界中の青少年を対象に宇宙空間で行う科学実験を募集し、その評価を競うものです。優勝した実験は、ISSで実際に行われます。JAXAの協力の一環として、2012年初夏頃からISS長期滞在を予定している星出宇宙飛行士がアイデア選考に参加します。本コンテストの詳細や応募方法についてはホームページをご覧ください。日本の皆様からのユニークで宇宙ならではの提案応募を期待しています。

▶ 星出宇宙飛行士Twitterで最新情報をチェック！

http://twitter.com/Aki_Hoshide

星出宇宙飛行士Twitterが始動しました。ISS長期滞在向け、星出宇宙飛行士はNASAジョンソン宇宙センター(JSC)を中心として様々な訓練に参加しています。そういう訓練などの最新情報も、随時お伝えしていきます。皆様のフォローと応援をよろしくお願いいたします！

ISS・きぼう ウィークリーニュース 第456号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。